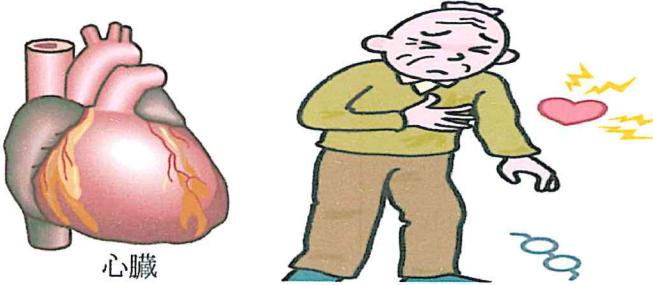


# 狭心症

NO. 89



## <狭心症> 胸の痛みに御用心！

心臓に酸素と栄養素を運ぶ冠動脈が部分的に細くなると、心臓への血流が悪くなるため、一時的な胸の痛みを感じるようになります。一瞬「死ぬのではないか？」と不安に思ったことはありませんか？

コレステロールや血栓などが原因で血管が狭くなり、血流が悪く、心臓が貧血状態になることが、狭心症の発作の原因です。（通常の貧血は、脳に送られる血液量が減少して起こることに対して、

圧迫感や締め付け  
られるような感じ  
の胸の痛み！



## <狭心症の危険因子>

高血圧、高脂血症、ストレス、糖尿病、肥満、高尿酸血症、運動不足、喫煙などが主な危険因子となります。



## <狭心症の分類>

狭心症は症状の出方や発作の起り方で分類されます。（心臓を中心とした痛み）

### 1、「労作性狭心症」 前胸部や胸骨下の圧迫感

運動の後や会議中のストレスなどで発作が起る狭心症発作は30秒～10分で

安静にしていると速やかに消失する  
ニトログリセリン・亜硝酸アミル

### 2、[安静性狭心症]

寝ている時など安静の状態で冠動脈が急にケイレンして起る狭心症（安静時、夜間、早朝は冠動脈の血流量がもっとも低く）

発作15～30分

心電図：STの上昇



### 3、「安定性狭心症」

発作がある程度周期的に起る狭心症（症状は比較的軽く、痛みの起る場所も同じようなところに同じような痛みで継続時間が一定）

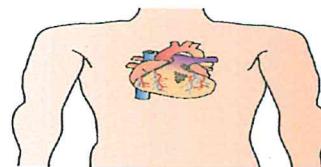
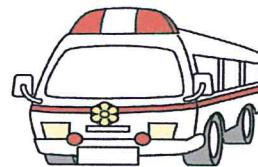
### 4、「不安定性狭心症」 →

急性心筋梗塞に移行

発作の起り方や痛みの出る場所が一定しない狭心症（軽くなったり、突然悪化したり安静時にも発作を起こしたり、発作を起こすたびに重くなったりします）

注意！ ニトログリセリンは舌下で！（飲み込んでしまうと、肝臓で分解されてしまうので）

不安定狭心症は、心筋梗塞に移行したり、突然死



●こんな時は要注意！発作が起きる前段...

- 左肩や左背中の凝りや痛みが度々ある。
- 食物やお薬（錠剤）が飲み込みにくい。
- 刺激物や鍋物を食べると人一倍顔に汗をかく。

○突然、心臓のあたりが締め付けられ引き裂かれるような、。 (特に左の)



**肥満**

**禁煙**

**ストレ**  
**解消**

**血糖値**

## 狭心症はどんな時に起きやすい？

- 1、過度の運動、過度の飲食をした時
- 2、寒冷な外気に触れた時
- 3、興奮や緊張したとき
- 4、アルコール摂取後
- 5、睡眠時（夜中から朝にかけ）
- 6、排便時



## 治療方法

### ○内科的治療

血栓を取り除く効果のある血栓溶解剤やアスピリン。

血管を拡張させる働きのあるニトログリセリンや硫酸イソルビドなどの処方をします。

### ○外科的治療

足の付け根又は腕の動脈から管を通して